

環境リスクへの対応

ムラタの事業活動のなかで想定される環境リスクを可能な限り低減していくため、万一、事故が発生した場合にも、周辺への影響を回避する設備的な対応を進めています。とくに影響の規模や期間を考慮し、化学物質の貯蔵や事業所内移送に

関連する設備について次のような自主基準を定めて対策を実施しています。

また、これらの対策は2001年度中に一部を除いて完了しました。 [関連28ページ](#)

地下埋設タンクの原則禁止

燃料・有機溶剤・酸・アルカリの新液及び廃液の貯蔵タンクは、地上化を原則とする。法規制等によりやむを得ず地下に設置する場合には必ず二重化すること。

地下埋設配管の禁止

燃料・有機溶剤・酸・アルカリの新液及び廃液の移送配管は架空とすること。

浸透防止塗装

燃料・有機溶剤・酸・アルカリの新液及び廃液の取り扱い場所は、浸透防止塗装もしくはステンレス製の受け皿を設置すること。

緊急遮断装置

タンクローリーなどによる新液受け入れや廃液引き抜きの作業場所は、事故発生時の漏洩を遮断できる構造とすること。

架空配管の例



浸透防止塗装の例



緊急遮断装置の例



緊急事態想定訓練(岡山村田製作所) 設備的な対応に加えて緊急事態発生時を想定した訓練を定期的を実施しています。



地下浸透防止対策費用

(単位：百万円)

1995～2000年度の実績累計		2001年度の実績		総計	
単体	連結	単体	連結	単体	連結
329	1,513	0	122	329	1,635